

オンライン 1 / 8 dayワークショップ ～青森で就活～ (モデルケース例)

事業実施時にケアしたポイント

■ 1 / 8 day = 3 時間で何を伝えるか？

→ 学生とのディスカッションでフォーカスした 2 点

① 手軽に【職場体験】ができるもの (実際の仕事に近いもの)

② 先輩社員からのフィードバック (仕事への関心・会社への関心UP)

■ ①の職場体験内容について

東北博報堂の採用職種【総合職】は

(A : アカウントプロデュース職 B:クリエイティブ職 C:プロデュース職 D:管理担当職)

→ 青森県内就職という視点から

A:アカウントプロデュース職の【職場体験】をオンラインで実施

実施フロー

※学生 6 名参加

①事前案内

事前に会社案内等
を送付しておき
会社説明の時間を短縮

事前
会社研究

②当日

1) 会社紹介、
事例紹介

会社説明
事例紹介

20分

2) オンライン職場体験

仕事の
シミュレーション
【職場体験】

130分

3) フィードバックと質疑応答

職場体験での行動などに
関するフィードバックを
中心に実施

30分

180分

ZOOMの運用

※ZOOMのブレイクアウトルームを活用して実施（2・3 詳細は個別ページに）

1) 会社紹介、事例紹介

会社説明
事例紹介

ZOOM
メインルームのみ使用

■ 学生 6 名
Aチーム 3 名
Bチーム 3 名

■ 社員 6 名
Aチーム 2 名
Bチーム 2 名
審査役 1 名
タイムキーパー 1 名

2) オンライン職場体験

仕事の
シミュレーション
【職場体験】

ZOOM メインルーム

Aチーム
企画作業
プレゼン準備

Bチーム
企画作業
プレゼン準備

ZOOM メインルーム

3) フィードバック と質疑応答

職場体験での行動などに
関するフィードバックを
中心に実施

ZOOM メインルーム

Aチーム
フィードバック

Bチーム
フィードバック

ZOOM メインルーム

**会社説明
事例紹介**

- ・①東北博報堂参加メンバー紹介
- ・②会社説明／会社概要、東北博報堂の沿革等
- ・③事例紹介／東北博報堂全社の事例、青森支社の事例

①はじめに…東北博報堂メンバー紹介 / 画面スライドショー紹介**②会社説明 / 画面スライドショー紹介**

- ・博報堂グループについてふれながら東北博報堂、東北博報堂青森支社を紹介
- ・地域会社ならではの活動紹介
- ・多種多様な業務の取扱種目の紹介
- ・採用職種紹介→総合職（アカウントプロデュース職、クリエイティブ職、プロデュース職、管理担当職）
- ・東北博報堂が求める人材像紹介

③事例紹介 / 画面スライドショー紹介

- ・東北博報堂全体での事例紹介
- ・青森支社ならではの事例紹介

※ 20分という時間設定

質疑応答時間を設けずシンプルに紹介、会社の雰囲気伝えることにウェイトを置く

仕事の
シミュレーション
【職場体験】

当社の仕事のほとんどは、1つ1つの案件ごとに考え、カスタマイズされた商品やサービス。ほぼ全ての業務において「クリエイティブ的な発想」が求められる。その一部のプロセスを短時間でできるものに置き換え、体験してもらい学びにつなげていく。

アカウントプロデュース職場体験

アカウントプロデュース業務の中の一例として【ヒアリングコミュニケーションを体験】

■ 設定

学生の皆さんは、東北博報堂青森支社のアカウントプロデュース職の社員

■ 課題

「弘前市内のとある企業がビッグビジネスを検討している！」
という情報があり、その企業の社長に会える機会をもらいました。

今後のアカウント開発のために

【社長が気に入ってくれそうなお土産】のヒアリングをしてください。

さらに、

【その企業と一緒に商品開発をしたらどんな商品にするか】を
企画してもらいます。

博報堂グループの業務進行フロー

得意先の課題解決に向けたヒアリング、戦略立案からプランニング、実施運用までをワンストップで対応します。アカウントプロデュース職はそのすべての場面に責任をもち、業務を遂行していきます。

今回はこのパートを中心に職場体験を実践していただきます。



アカウントプロデュース業務の中の一例として【ヒアリングコミュニケーションを体験】

※Aチーム学生3名←社員2名がサポート／Bチーム学生3名←社員2名がサポート

10分	<p>①ヒアリング質問内容についてチームで検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 社長のプロフィールシートを配布 チームごとに質問の時間が与えられるので質問内容をチームごとに検討 	<p>Aチーム（3名）Bチーム（3名）でブレイクアウトルームに移動 ※社員A・BがAチームサポート、社員C・DがBチームサポートのためブレイクアウトルームに入室、アドバイス（社員とのコミュニケーション機会の提供）</p>
10分	<p>②社長ヒアリング（チーム単位で交互に）</p> <p>※ニーズ（課題）の把握のため様々な質問を実施。</p>	<p>メインルームでチームごとに質問（別チームのヒアリング内容もあえて聞けるようにした） ※社員1名（クリエイティブ職）が社長役を演じて、質問に対して適時回答</p>
15分	<p>③検索タイム（個別）</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットで提案内容について検索・絞り込み等 ※途中、適時社員のアドバイスを聞くことができる 	<p>メインルームで、各個人が個別で検索作業を実施。 随時質問を受け付ける形にしながら、個の時間としてリサーチ作業を通じて個性を見極める課題に。</p>
55分	<p>④プレゼン資料作成タイム（チーム単位で）</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案するシートにまとめる（パワポ資料） プレゼンリハーサル ※随時社員へ質疑応答、アドバイスを聞ける（適時休憩も入れる） 	<p>Aチーム（3名）Bチーム（3名）でブレイクアウトルームに移動 チームワークで1つの提案資料をまとめ、プレゼンの準備を行う。 ※①と同様に社員A・BがAチームサポート、社員C・DがBチームサポートのためブレイクアウトルームに入室、適時アドバイス</p>
10分	<p>⑤プレゼンタイム 各チーム（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> プレゼン時間は5分 資料を画面共有してプレゼン 	<p>メインルームでAチーム→Bチームの順番でプレゼン（別チームのプレゼン内容もあえて聞けるようにした）</p>
15分	<p>⑥社長役社員より結果発表とコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのプレゼン内容への講評 	<p>メインルームでAチーム、チームの発表内容について講評とフィードバックを実施（良かった点、改善点等）</p>

■ 4～5ページのプレゼンシートについては下記項目を提示して作成してもらった（パワポ配布）

プレゼンシート1ページ目

コンセプト・キャッチコピーを一行で
わかりやすく記載してください。
（おすすめするお土産のコンセプト・
キャッチコピー等を記載してください）

プレゼンシート2ページ目

お土産の写真 と 商品名および
補足説明を記載してください。

プレゼンシート3・4ページ目

おすすめする理由を自由に
記載してください。

（4ページ目は無くてもOK）

プレゼンシート5ページ目

社長へのプラス提案に挑戦！

「あなたのチームでは、
この会社とつしよに、
どんな商品開発をしたいと思いますか？」

このページに自由に記載してください。

職場体験での行動などに
関するフィードバックを
中心に実施

アカウントプロデュース職的体験をチームごとにフィードバックを行う
待ち時間は学生同士の会話のタイミングとしても活用

職場体験について気軽にトークしてみよう！（30分）

- ①フィードバックタイム Aチーム（約14分）・・・ブレイクアウトルームにて実施
参加社員5名より個別フィードバックを実施した後、質疑応答を実施

※Bチームは学生のみブレイクアウトルームに移動、学生同士の交流のための自由時間とした

- ②フィードバックタイム Bチーム（約14分）・・・ブレイクアウトルームにて実施
参加社員5名より個別フィードバックを実施した後、質疑応答を実施

※Aチームは学生のみブレイクアウトルームに移動、学生同士の交流のための自由時間とした

- ③エンディング（約2分） 全員メインルームに集合挨拶し終了

事業実施後に感じたポイント

- ① **3時間のオンライン業界研究が、全国の企業で一般的に行われている。**
 - 気軽に参加できる会社説明会やオンライン職業体験等を頻繁に行う必要がある。
 - 全国の企業（有名企業）とオンラインなので距離関係なく競争となっている。
 - 魅力的な企業の見せ方、オンラインで説明できること・内容のブラッシュアップが必須。

- ② **学生は一方通行よりも、会社の雰囲気やフィードバックを求める傾向**
 - オンラインであっても社員同士の会話などを通じて会社の雰囲気を感じとっている。
 - 入社後のはたらくイメージが想起できるような場面を意識的につくる必要がある。
 - 多くの企業の就職活動を行う上で学生のフィードバックを行ってくれる会社の評価が高い。

- ③ **業界を知りたい？ 会社を知りたい？ 学生の目的を明確にして実施**
 - 就職した業界に興味があるというレベルでの参加なのか、当社へ興味があって参加なのか？
 - 学生が参加するはじめの目的をそろえることで、180分で伝える内容がフォーカスしやすい。